

第4学年 図画工作科

教科目標

- 1 豊かな発想や創造的な技能などを働かせ、その体験を深めることに関心をもつとともに、進んで表現する態度を育てるようにします。
- 2 材料などから豊かな発想をし、手や体全体を十分に働かせ、表し方を工夫し、つくりだす能力、デザインの能力、創造的な工作の能力を伸ばすようにします。
- 3 自分たちの作品や身近にある作品、材料のよさや美しさなどに関心をもって見るとともに、それらに対する感覚を高めるようにします。

学習計画

月	単元・題材名	時間	学 習 活 動
4	自分を見つめて	3	・ 鏡をよく見ながら自分の顔を描く。
5	お話の絵	5	・ 画用紙の一部を開くと、お話が展開する物語やお話の絵をつくる。
6	○コロコロコロガロード	10	・ ビー玉が転がり落ちる仕組みを理解し、どのようにしたら楽しい転がり方をするかを考え、工夫して迷路をつくる。
7	きょうかしょびじゅつかん	2	・ 身のまわりのわくわくする場所や建物を見つけ、想像をふくらませたり、楽しく遊べたりする場所や環境の特徴を互いに紹介して、そのよさを味わう。
9	ハッピーカード	10	・ 飛び出す仕組みを理解し、特徴を生かせるアイデアを練り、表現を工夫する。パソコンの初歩的な機能を理解し、それらを生かして楽しいお知らせカードをつくる。
10	ゆめを広げて	6	・ 身近なものをもとに空想し、想像した世界を効果的に表現できる材料や方法を選び、工夫してかいたりつくったりする。
11	木から生まれた世界	10	・ 彫刻刀を使って、自分の生活の一場面などから感じたことや体験したことなどを工夫しながら木版で表す。
12	キラキラ光る絵	6	・ 集めた材料の形、色、材質感を生かして、効果的に画面構成をする。
1	布から生まれた	8	・ いろいろな布の感じの違いをもとに、夢のあるものをつくる。
2			
3			
授業時数の合計			60時間

図画工作科の評価は

観 点	評 価 基 準	評 価 方 法
造形への関心・意欲・態度	・ 自分の思いを表す体験を深めることに関心をもつことやつくったものなどに関心をもって見るなど、進んで造形表現活動を楽しみ、その喜びを味わおうとしているかどうかという観点から見ます。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習態度 ・ 準備、片づけの様子 ・ 材料の収集 ・ 道具の扱い ・ 作成過程 ・ 作品 ・ 鑑賞カード
発想や構想の能力	・ 見たことや感じたことをもとに想像力を働かせ、豊かな発想をしたり、つくりたいものの美しさや用途を考えるなど構想したりしているかどうかという観点から見ます。	
創造的な技能	・ 手を十分に働かせたり、体全体の感覚を生かしたりしながら、つくりだす能力などを働かせて、自分なりの技能や表し方の工夫をしているかどうかという観点から見ます。	
鑑賞の能力	・ 自分たちの作品や身近にある作品などのよさや美しさ、感じの違いなどに関心をもって見ているかどうかという観点から見ます。	
		など 総合的に評価します。